

厚生労働省発薬食第 1107072 号
平成 20 年 11 月 7 日

薬事・食品衛生審議会会長
望月 正隆 殿

厚生労働大臣 舩添 要一

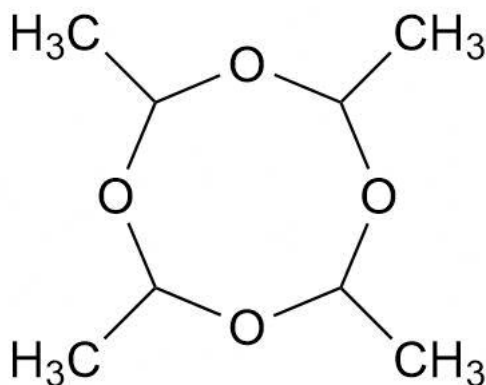
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

2, 4, 6, 8-テトラメチルー 1, 3, 5, 7-テトラオキシカン（別名メタアルデヒド）及びこれを含有する製剤（ただし、2, 4, 6, 8-テトラメチルー 1, 3, 5, 7-テトラオキシカン 10%以下を含有するものを除く。）の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について

2, 4, 6, 8-テトラメチルー1, 3, 5, 7-テトラオキシカン（別名メタアルデヒド）及びこれを含有する製剤（ただし、2, 4, 6, 8-テトラメチルー1, 3, 5, 7-テトラオキシカン10%以下を含有するものを除く。）の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について



$C_8H_{16}O_4 / (CH_3CHO)_4$

CAS No. : 108-62-3

名称 （英 語 名） 2, 4, 6, 8-Tetramethyl-1, 3, 5, 7-tetraoxocane
 （日本語名） 2, 4, 6, 8-テトラメチルー1, 3, 5, 7-テトラオキシカン
 （別 名） メタアルデヒド（ISO : Metaldehyde）

経緯

上記化学物質は、既に農薬登録されている物質であるが、現在、毒物又は劇物に指定されていない。今般、事業者より、原体及び10%製剤の毒性データが提出されたため、劇物の指定の検討を行うものである。

用途

農薬（殺虫剤）、固形燃料

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

2, 4, 6, 8-テトラメチルー1, 3, 5, 7-テトラオキシカン（別名メタアルデヒド）及びこれを含有する製剤（ただし、2, 4, 6, 8-テトラメチルー1, 3, 5, 7-テトラオキシカン10%以下を含有するものを除く。）については、「劇物」に指定することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英 語 名) 2, 4, 6, 8-Tetramethyl-1, 3, 5, 7-tetraoxocane (日本語名) 2, 4, 6, 8-テトラメチル-1, 3, 5, 7- テトラオキシカン (別 名) メタアルデヒド
CAS 番号	108-62-3
化学式	$C_8H_{16}O_4$ / $(CH_3CHO)_4$
分子量	176.21
物理化学的性状	
外観	白色結晶性粉末
臭気	アルデヒド臭
沸点	測定不能
融点	163.1℃
密度	1.27 g/cm ³ (20.0±0.5℃)
相対蒸気密度	6.06 (空気 = 1)
蒸気圧	4.4±0.2 Pa (20℃)、6.6±0.3 Pa (30℃)
溶解性	水 : 0.222 g/L (pH6.4, 19.9～23℃)、 オクタノール / 水 分配係数 (log P) : 0.12 (19.9～20.1℃)、 ジクロロメタン : 8.11 g/L (20.0±0.5℃)、メタノール : 1.73 g/L (20.3 ～22.4℃)、テトラヒドロフラン : 1.56 g/L (20.3～22.4℃)、アセトン : 1.35 g/L (20±0.5℃)、アセト酢酸エチル : 0.754 g/L (20±0.5℃)、トルエン : 0.53 g/L (20.3～22.4℃)、ヘキサン : 52.1×10 ⁻³ g/L (20.3～22.4℃)
引火性及び発火性	引火点 : 50.0～55.0℃ (c.c.) 発火点 : 365.0℃以上 (粉塵状態) 100.0℃ (非粉塵状態、着火した場合)
安定性・反応性	安定性 : (対熱) 150℃～200℃の間で吸熱反応が認められ、最大値 は、188.7℃。 (その他) 酸性で不安定、アルカリに安定。 反応性 : 強酸化剤と接触又は混合する場合、激しい反応が起こりう る。
換算係数	—
国連(UN)番号	—
国連危険物輸送分類	—
EC / Index 番号	203-600-2 / 605-005-00-7
EU-Annex I 分類	Acute Tox. 3 (H301 : Toxic if swallowed), Repr. 2, Aquatic Chronic 3, Flam. Sol. 2.

【別添 2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物等	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	<u>LD₅₀ : ♂, ♀ 283 mg/kg</u>	OECD TG 401 GLP 準拠
	マウス	LD ₅₀ : ♂ 411 mg/kg、♀ 443 mg/kg	OECD TG 401, US EPA Subdivision F, 81-1, US EPA Health Effect Test Guideline; Section HG, 59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂, ♀ >5,000 mg/kg	—
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LC ₅₀ : ♂, ♀ >15 mg/L/4hr	—
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性 : ♀ なし	GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : ♀ 軽度の刺激性	OECD TG 405 GLP 準拠

毒性（10%製剤）

試験の種類	供試動物等	試験結果	備考
急性経口毒性	マウス	LD ₅₀ : ♂ 2,820 mg/kg、♀ 2,295 mg/kg	59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠
	ラット	LD ₅₀ : ♂, ♀ >5,000 mg/kg	59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂, ♀ >2,000 mg/kg	59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠
急性吸入毒性	—	毒性データなし	—
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性 : ♂ なし	59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : ♂ 軽度の刺激性	59 農蚕第 4200 号 GLP 準拠